

販売数は前年比 2 倍以上、ビジネスウエア専門店ならではの「買いやすさ」が好評 男性にも広がる夏の必需品「日傘」を最大規模の 260 店舗で展開 ～“熱中症対策”として酷暑を乗り切るビジネスパーソンをサポート～

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：遠藤 泰三）は、近年の酷暑や紫外線対策として夏の必需品となっている「日傘」の取扱店舗数を前年の約 5 倍に拡大し、「洋服の青山」主要 260 店舗および公式オンラインストアで発売しています。

[▶商品ページ](#)



近年の地球温暖化に伴う酷暑や、紫外線対策への意識変化により、日傘は夏の新たな必需品へと定着しつつあります。東京都の「日傘利用に関する都民アンケート」※によると、2025 年の日傘利用率は全体で 67%、男性も 44% が利用しており、その利用したきっかけの 9 割以上（男性）が「暑さ対策」と回答。さらに利用男性の約半数が「今年から使い始めた」と回答し、東京で歴代最多の猛暑日を記録した 2025 年はまさに“日傘男子デビュー”の年となりました。当社では、こうした日傘需要の拡大に合わせて、本年度の取扱店舗数を前年度の 50 店舗から 5.2 倍となる 260 店舗へと大幅に拡大いたしました。販売数においても、3 月から 5 月までのわずか 3 ヶ月間で前年度累計の 2 倍以上になるなど、男性の間でも夏の新たな必需品となっています。

※<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/10/2025100211>

本商品は、多様化するビジネスウエアにも違和感なくマッチするよう、グレー、ブラック、オフホワイトといったベーシックなカラーを中心にラインアップ。コンパクトな手のひらサイズで、晴雨兼用かつ装飾を抑えたシンプルなデザインは、初めて日傘を持つ男性でも抵抗感なく、毎日の通勤や外回りにおいても気軽に活用できます。また、普段ビジネスウエアを購入されている店舗で、スーツやシャツと合わせて気負わずにそろえることができる“買いやすさ”も好評いただいています。さらなる猛暑が予測される今年の「酷暑日元年」を乗り切るビジネスパーソンのトータルコーディネートとして提案します。



【商品概要】

商 品 名 Wpc.IZA 晴雨兼用傘
素 材 ポリエステル 100%(裏面:PU コーティング)
販売価格 コンパクトタイプ税込 3,850 円、ワンタッチ開閉タイプ 4,620 円
カ ラ ー ブラック、グレー、オフホワイト
販売店舗 洋服の青山主要 260 店舗 公式オンラインストア
※記載の情報はリリース発表時現在のものです。

《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 濱野、高橋

〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 青山上野ビル 7F

TEL:03 (5846) 5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp